



けいれん (ひきつけ)

次のうち、どの症状が見られますか？

- けいれんが5分以上続く。
- けいれんは止まったが、呼びかけても反応しない。
- 唇の色が青紫色で、呼吸が弱い。

この欄に1つ以上「はい」がある

救急車を呼びましょう!

- 生まれて初めてのけいれんである。
- 生後6カ月未満(あるいは6歳以上)。
- けいれん時の体温が38.0℃以下だった。
- けいれんに左右差がある。
- 吐いたり、失禁を伴う。
- 最近、頭を激しくぶつけた。
- 何度も、繰り返しけいれんがおこる。

左の欄に「はい」はなく、この欄に「はい」がある

休日夜間急患診療所を受診しましょう。

診療時間外の場合

- すでに診断がついており、今までにも何度かおこったことがあるけいれん発作(てんかん)。
- けいれんか、どうか分からない

この欄にしか「はい」がない

様子を見ながら、翌日、かかりつけ医を受診しましょう。

症状が急変した場合

救急電話相談ダイヤルに相談しましょう。

名称：とっとり子ども救急ダイヤル

電話番号：#8000 (ダイヤル回線・IP電話の場合は0857-26-8990)

相談受付時間：24時間365日



対応のポイント

- けいれんの途中、吐いたもので窒息しないように、身体を横に向けましょう。
- 気道（空気の通り道）をまっすぐにして、呼吸をやすくするため、頭を少し後ろにそらして、衣服をゆるめましょう。
- けいれん時、ゆすったり、叩いたりしないでください。飲み物や飲み薬を与えないでください。
- 口の中に物や指を入れないでください。



観察のポイント

- 次の点をよく観察しましょう。
 - ・ 何分続いたか。
 - ・ 目の位置（一点をじっと見ている、白目をむいている）
 - ・ 手足の動き（左右対称か、体の片側だけか）
 - ・ 終わってから泣いたか、眠ったか、呼びかけに反応したか。



お医者さんに伝えてほしいこと

- 「いつから」、「どんなけいれんが」、「どのくらい」続いたか。
（例：けいれんの続いた時間、目の位置、手足の動き、終わってからの様子 など）
- けいれん時、体温は何℃あったか。
- けいれん以外の症状はあるか。
（例：発熱、吐く、下痢 など）